

睡眠障害の診断 寝具会社で

寝具の製造、販売を手掛ける丸八真綿（浜松市）は、横浜市の自社ビル内に睡眠・呼吸器専門の医療施設を誘致した。最新鋭の医療機器をそろえ、慶応義塾大学病院などの医師が診療にあたる。睡眠時無呼吸症候群などの睡眠障害を共同研究し、寝具の開発に生かす。

「RESM新横浜」（白浜龍太郎院長）が1日、開業した。日本初導入となるフィリップス製の最新医療

丸八真綿、医療施設を誘致

商品開発にも活用

機器を6台設置。宿泊して脳波の変化を32項目にわたって測る。1泊の診察料は2万5000円以上（保険適用後）。宿泊部屋は9室あり、日中は問診や30分程度の睡眠で診断する。

寝室は高さを5ミリ単位で変えられる枕など、丸八真綿の高品質な商品を用意。自宅の睡眠環境に近い状況を再現し、症状を見つけやすくした。主にビジネスパーソンの利用を見込む。日野原和夫社長は「利用者の反応を見ながら、新幹線沿線に設置したい」としている。